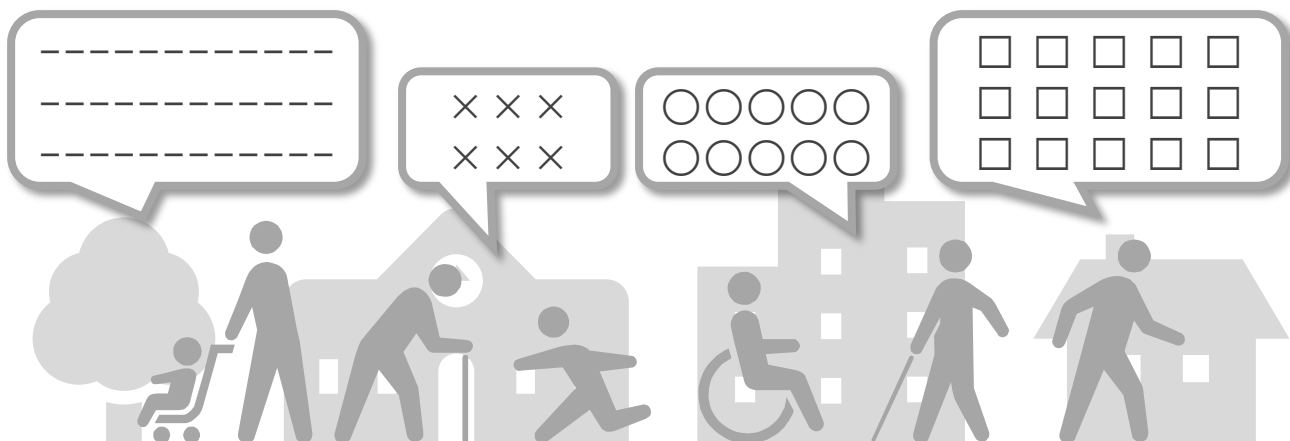


私たちの思いを 聴いてください



茅ヶ崎市 心のバリアフリー リーフレット



誰もが安心して出かけられるまちへ

茅ヶ崎で暮らすみんなの声

聞こえないけど、耳で情報を得ること以外は何でもできます。趣味として旅行は年に数回行っていますが、現地ガイドの音声、電車・バスのアナウンス、…どこも音声情報です。

もっと旅行を楽しみたいです。（女性、聴覚障害）

目が見えにくくなってからオカリナを始めた。指で触りながら、**耳で聞きながら音を作っていくので、仲間と楽しく演奏している。**（男性、70代、視覚障害）

いつも父か母と外出しますが、20歳位までは通所施設にも一人で通っていました。その時は**寄り道したり、本屋さんに入って立ち読みしたり、楽しい事がありました。**（男性、40代、視覚障害・知的障害）

子供を連れていきにくい所で自分が場違いな思いをすると嫌だから行きません。迷惑もかけたくないので。本当はみんなが自由に過ごせるといいのですが…。大人だけの場所もあって欲しいけれど、**子供連れでも安全に過ごせる場所がもっと増えるといい**です。（女性、30代、子供連れ）

茅ヶ崎市の障害者は人口の4.3% （総人口239,552人）

<茅ヶ崎市の障害者数※(H28.4.1現在)>

身体障害者	5,958人
知的障害者	1,289人
精神障害者	1,429人
難病	1,652人
合計	10,328人

※身体障害者手帳等の所持者

自然な所で（カメラを持って）撮影することが趣味です。音が聞こえなくても山、川、海、花など**美しい風景を見ながら癒されます。**（女性、聴覚障害）

障害のあるなしにかかわらず、“外出”や“人とのつながり”が、生活に欠かせないことは言うまでもありません。

障害のある人もない人もお互いに理解し助けあい、だれもが「出かけられる」、「出かけたいたい」と思える茅ヶ崎をつくりましょう。

心のバリアの解消が必要です

茅ヶ崎で暮らすみんなの声

電車やバスに乗って出かけます。いつも周りの人が**気をつかって席をゆずってくれます。**
(男性、30代、肢体障害)

自分の職場の人たちは、**口を大きく、ゆっくり動かして、内容が分かるように話してくれます。口だけではなく、身振りをして、理解**してくれます。(聴覚障害)

横断歩道でもベビーカーで止まっていると**「渡って下さい」と車を止めてくれる**人がいるので助かります。
(女性、30代、子供連れ)

私が買物して左手に荷物を持ってエスカレーターに乗って上の階に向かい行きました。皆さんは左側に並んでいますが私は右手切断の為に右側に立っていました。**後から来た人達が私にぶつかりながら上っていきました。**(男性、70代、肢体障害)

仕事に電車で行きます。車いす席に立っている人でなかなか空けてくれない時に声を掛けさせていただきますが、**嫌な顔をされると悲しくなります。**
(女性、70代、肢体障害)

病院やスーパー、公園などの駐車場で車イス用のスペースに健常の人が停めていることが良くあります。**車イスの人は駐車スペースが広くないと降りられない為、一般スペースに停めることができず、とても困ってしまいます。**(男性、10代、肢体障害)



障害等を持つ方々は、周囲の人から様々な手助けを受ける一方で、理解のない言葉や態度も経験しています。

こうした経験は、「出かけられる」、「出かけたい」という思いを阻害するバリアになっています。

みなさんの意識や行動はどうでしょうか？

心のバリアフリーの実践は難しい？

茅ヶ崎で暮らすみんなの声

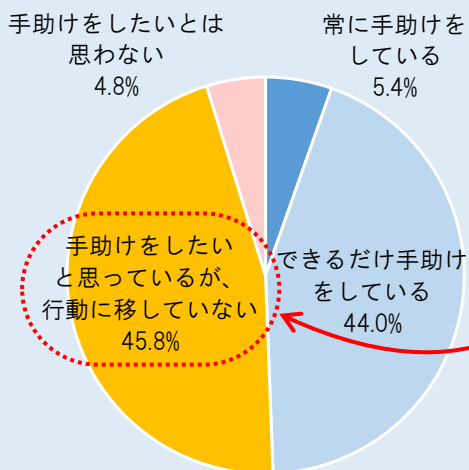
外見から見るかぎり、障害のあるかないか分からない人も多い。手助けしようにもそのような方には出来ない。(男性、70代、障害なし)

外出先で視覚障害の方を見かけます。電車のホームで乗り込む時、私は、ハラハラして見ているだけで、何も出来ません。**声の掛け方や手助けの方法に戸惑いを感じている。**(女性、70代、障害なし)

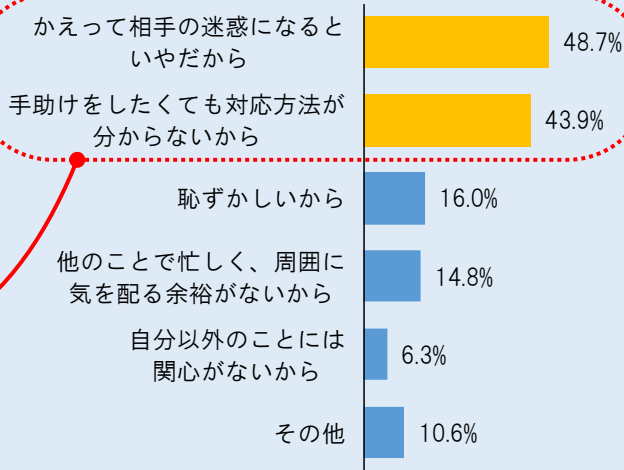
車内で席を譲って下さったのに**遠慮して辞退**したら、その人は気まずそうに席を立て、他に行ってしまった。しばらくの間、その席は空のまま。**まわりの雰囲気も悪くなった。**(男性、80代、障害なし)

障害者の手助けしたいが、行動に移していない人が半数。行動に移せない理由は、相手の迷惑になるといや、方法が分からないが多い。

<障害者の手助けの実践状況>



<行動に移さない理由>



出典：平成29年度バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する意識調査、内閣府



障害等を持つ方を思いやる気持ちを持っている方でも、障害等があることに気づかない、接し方が分からないという方も多くいます。

多くの方が、障害等を持つ方を思いやる気持ちを行動で示すことができれば、障害を持つ方が「出かけられる」、「出かけたがたい」という思いを後押しします。

理解することから始めよう

茅ヶ崎で暮らすみんなの声

どこでも、私は見た目では普通だと思われるので、**耳が聞こえないと言っても、人によっては分かってもらえず**、口だけで話すこともありました。（女性、50代、聴覚障害）

目の代わりに**触ることでいろいろなものを区別**しています。形や大きさ・触った感じの違いなどで分かることが沢山あります。**匂いで分かることがあります**。カレーやコーヒー・床屋さんなどのお店において。料理をしている時にはにおいて出来上がり具合を判断します。（女性、70代、視覚障害）

「弱視」は見えにくい人です。その見えにくさも人によって様々です。周りからは**見えているように思われることがあって困ります**。どんな風に見えないのかを説明するのはなかなか難しいことです。（女性、70代、視覚障害）

自分は身体が痛く、ものすごい痛みの時や、重たい物などを持つと、苦しくなります。**外見では分からないので、周りに伝わらず困っている**。（男性、40代、精神障害・難病）

あなたの周りで赤ちゃんが泣いていると、うるさく感じるかもしれませんが、**赤ちゃんは泣くことで自分の気持ちを伝える**時があります。（女性、30代、子供連れ）

！ 障害には、様々な種類があります。身体障害だけでなく、外見からは分からない障害や行動を他の人に合わせることが難しいといった障害もあります。

こうした様々な障害に対する理解により、障害等を持つ方に自然に気づくことができるようになります。

困ってる人に出会ったら

茅ヶ崎で暮らすみんなの声

近所の人には理解してくれている人がいるので、**あいさつや声掛けをしてくれるのはうれしい**です。
(男性、20代、知的障害)

よく言われるように、**駅のホームは欄干のない橋のようで怖い**。しかし、この頃は**声を掛けてくださる人も増えて有難く思っています**。(視覚障害)

必要があれば障害のある方は声を掛けてほしいし、私達もそれを感じたらお手伝いができるようにしたいと思います。(女性、70代、障害なし)



困っている人を見かけたら進んで声を掛けましょう。
また、駅のホームや横断歩道等で、危険を感じた時には、積極的に声を掛けましょう。
障害をお持ちの方も手助けが必要な時は、周囲の人に自分から声を掛けてもよいかもしれません。

エスカレーターに乗っている時も**付添いの人と手をつながないと不安**なのですが、後ろからエスカレーターを上ってくる人がいて**避けなければならない時は少し怖い**です。上に着くまで待ってほしいです。
(女性、20代、知的障害)

駅などで案内をしてくださる時は、**視覚障害者にどうしたらよいのか聞いてください**。ご自分が研修等で勉強されたことはその視覚障害者に全て当てはまるとはかぎりません。(女性、50代、聴覚障害)



歩道に自転車を止めない、障害者用の駐車場は使わない、エスカレーターでは歩かないなど当たり前前のルールやマナーを守りましょう。



必要な手助けは、人によって、場合によって違います。まず、手助けをしてほしいことを相手に確認してから、手助けをしましょう。



「**今は青信号ですよ。**」とか、声を掛けていただけるとうれしいです。目の見えない人も安心して歩けるように、皆さんのお声掛けをよろしくお願いします。（女性、60代、視覚障害）

いきなり腕をひっぱられると、こわいです。一緒に歩くときはあなたの腕を掴ませてください。（女性、50代、視覚障害）

あなたが話し掛けようとする相手が、耳が聞こえない人と分かった時は、**スマホがお手元があれば、文字を入力していただけるとありがたい**です。（男性、50代、聴覚障害）

! 視覚障害を持つ方に対して、いきなり触れたり、手を引いてはいけません。まず、声を掛けて手助けが必要か聞きましょう。誘導する時は、腕を掴んでもらうのが基本です。

! 聴覚障害を持つ方とは、手話ができなくても、筆談・スマートホンでコミュニケーションができます。

レジでお金を出す時、時間がかかりますが、**少し待ってほしい**です。（男性、10代、知的障害）

うるさい音の中では、辛くて**耳をふさいで座り込んでしまう**時もあります。**自分の声を大きく出してうるさい音を消す**時もあります。（20代、男性、知的障害・発達障害）

知らない人にも、あいさつをするかもしれません。**気軽にあいさつを返してください**。（女性、20代、知的障害）

私は、怒られたり、叱られたりすると気分が落ちこんでしまいます。**できる限り、優しく接してもらえるとがんばることができます**。（20代、男性、精神障害）

! 知的障害や精神障害を持つ人は、外見からはわかりにくく、障害の特性も様々です。少し変わった行動をすることもあります。おかしい人、変な人と敬遠せずに、見守りましょう。声を掛ける時は、「ゆっくり」、「ていねい」、「具体的に」に話しましょう。

心のバリアフリーとは

障害者等の外出のしづらさといった日々の生活で受ける制限は、障害者等が持つ心身機能の障害と社会的障壁（バリア）の相互作用によって作り出されているものです。

誰もが安心して暮らせるまちを作るためには、様々なバリアを解消する必要があります。段差の解消やエレベーターの設置といったハード面のまちづくりや、点字や音声、手話、多言語による案内のほか、人々の心のバリアの解消が必要です。

心のバリアとは、障害のある人に対する偏見、差別や理解不足のことを言います。

心のバリアをなくすためには、障害のある方を知ることが重要です。このリーフレットは、障害のある方を知ってもらうため、茅ヶ崎で暮らす障害のある方等の気持ちや体験を集めて作りました。

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会市民部会の紹介

茅ヶ崎市では、平成27年9月に茅ヶ崎市バリアフリー基本構想を策定し、「だれもが安心して過ごせるまちづくり」を基本理念として、バリアフリーに関する施策を推進しています。

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会市民部会は、基本構想に位置付けた「心のバリアフリーの普及・啓発」に関する取り組みを推進するために設置されました。

市民部会では、多くの市民が実践・協力できるような取り組みの展開を目指し、具体的な取り組みを検討しています。取り組みの実践にあたっては、多くの市民を巻き込み、障害者等への理解や声かけなどの行動を促すことに主眼を置いています。



平成29年度の取り組み

茅ヶ崎ユニバーサルスポーツフェスティバルとの連携して、心のバリアフリーの普及啓発活動を実施しました。

サウンドテーブルテニス

- ・サウンドテーブルテニス本来の醍醐味を味わえる静かな環境で実演、試合を実施



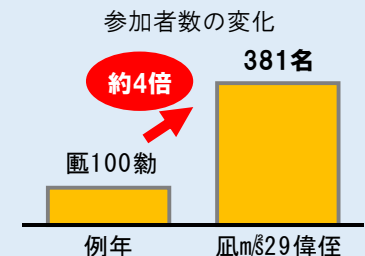
パネル展・点字体験

- ・バリアフリー基本構想の取り組みや心のバリアフリーの考え方等を紹介
- ・点字体験も実施



イベント周知

- ・市内小学校の児童全員にチラシを配布
- ・市内公共施設、福祉施設へのチラシ配架



平成31年3月発行

発行：茅ヶ崎市

編集：茅ヶ崎市バリアフリー基本構想
推進協議会市民部会

このリーフレットに関するお問い合わせ

茅ヶ崎市都市部都市政策課交通計画担当

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

電話：0467-82-1111

ファクス：0467-57-8377